

中期経営計画（平成29年度～31年度）

公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

当事業団は、昭和55年4月に埋蔵文化財保護行政の代行調査機関として設立されて以来、公共開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を数多く実施してきたところである。その調査成果である出土文化財や報告書は、県民共有の財産として、埋蔵文化財に関する調査研究に資するとともに、地域の歴史や文化の一端を明らかにしてきたところである。

こうした事業団としての使命を果たすとともに、公益財団法人として更なる経営改善を進めるため、今後の事業団の経営方針、目標及び実現のための方策等を定めるものである。

計画期間は3か年とする。

1 経営方針

埋蔵文化財に関する調査研究及び埋蔵文化財保護思想の普及・啓発事業を通して、本県文化の向上に寄与する

2 経営目標

(1) 適切な発掘調査の実施

公共事業等の増減に伴う事業量の変動に対応するための弾力的な組織運営や、業務の効率化を図りながら、質の高い発掘調査を実施する。

(2) 発掘調査技術の維持向上及び継承

これまで培ってきた発掘調査技術等をさらに向上させつつ、市町村支援事業及び都県間協力事業の推進、大学機関との連携を行い、技術の継承に努める。

(3) 県民のニーズに応じた発掘調査成果の有効活用

埋蔵文化財に対する一層の理解を深めるため、郷土の貴重な文化遺産である埋蔵文化財発掘調査の成果を生涯学習や学校教育との連携などを通して、有効活用を推進する。

(数値目標)

項目 \ 年度	平成28年度 (実績値)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
出土品展示会見学者数	21,980人	22,830人	23,680人	24,530人

3 実施方策

(1) 適切な発掘調査の実施

ア 関係機関との緊密な調整・連携

公共事業等の増減に伴い事業量の変動するため、関係機関との緊密な連携の下、情報を早期に・的確に捉え、適時・適切な事業展開を行う。

イ 弾力的な組織運営

事業量の変化に十分対応できるよう、期限付き職員の活用などにより弾力的な組織運営を行う。

ウ 発掘調査・報告書作成の効率化及びコスト削減

発掘調査・報告書作成の手順を見直す等、効率化・コスト削減を図る。

(2) 発掘調査技術の維持向上及び継承

ア 市町村支援事業・都県間協力事業の推進

市町村所管の民間開発事業に係る発掘調査の支援や他都県等との相互協力により、技術・情報の交換等を積極的に行う。

イ 発掘調査技術の次世代への継承

埋蔵文化財発掘調査に係る専門的知識・技能を有する機関として、インターンシップ等を通じ、次世代へ発掘調査技術を継承する。

ウ 専門的技術の維持向上

発掘調査に係る技術の一層の向上、職員の資質向上・育成に努める。

(3) 県民のニーズに応じた発掘調査成果の有効活用

ア 発掘調査成果の有効活用

県民向けに調査中の遺跡見学会や、調査成果の報告会を開催し、地域の歴史に触れる機会を提供する。

イ 出土品の有効活用

商業施設等で出土品の展示会を行うほか、小中学校への出前授業である「古代から教室へのメッセージ」事業や学習用キットの貸し出しなどを通じて、実物の埋蔵文化財に触れる機会を提供する。

(数値目標)

項目	年度	平成 28 年度 (実績値)	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
遺跡見学会・報告会参加者数		1,586 人	1,636 人	1,686 人	1,736 人
学習用キットの貸出数		398 セット	408 セット	418 セット	428 セット

4 財務計画

単位：金額（千円） 指数（%）

項目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		平成 31 年度	
	金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額	指数
収入	1,112,507	100.0	974,827	87.6	980,080	88.1	990,080	89.0
事業収入	1,112,226	100.0	974,733	87.6	980,000	88.1	990,000	89.0
その他収入	281	100.0	94	33.5	80	28.5	80	28.5
費用	1,112,347	100.0	974,827	87.5	980,080	88.1	990,080	89.0
事業費	1,045,460	100.0	914,633	87.6	920,100	88.0	930,080	89.0
管理費	66,887	100.0	60,194	90.0	60,000	89.7	60,000	89.7
当期一般正味財産増減額	160	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0